

新しい環境影響評価手法 JEPIXを用いた評価

ビル管理運営業務における環境負荷総量

ビル管理運営業務における環境負荷は主にエネルギーの使用と廃棄物の排出によっていますが、これらを単一指標に統合化する手法であるJEPIX(*)を用いて評価しました。

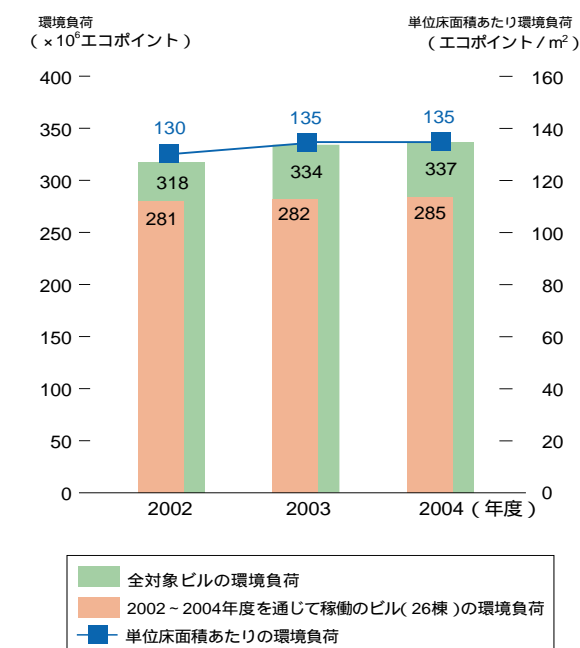
2002～2004年度のISO14001対象首都圏各ビルにおけるエネルギー(電力、地域冷暖房、都市ガス、重油)使用量、廃棄物(埋立廃棄物、焼却廃棄物)排出量などによる環境負荷を単一指標にて統合化したところ、環境負荷総量、単位床面積あたりの環境負荷がともに増加傾向にあります。

また、旧来ビル(1950～1960年代竣工)平成初期ビル(1993年竣工)新規ビル(2002年竣工の丸ビル以降のビル)の単位床面積あたりの環境負荷について比較したところ、2004年度実績で旧来ビルに比べて平成初期ビル、新規ビルの環境負荷が大きい傾向にあることがわかりました。ただ、横浜ランドマークタワー(平成初期ビル)丸ビル(新規ビル)はいずれも商業施設の容積が大きいという特殊要因があり、新規ビルのうちオフィス中心のビルでは単位床面積あたりの環境負荷は旧来ビルよりも低くなっています。

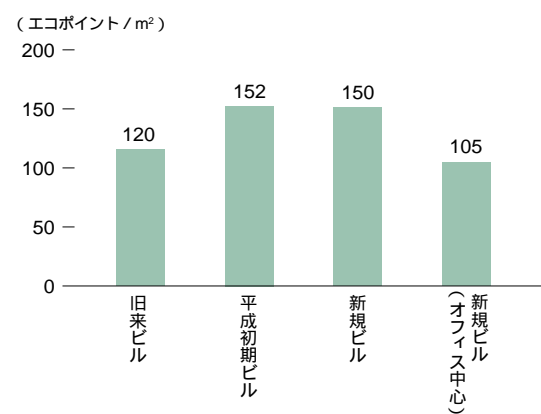
新規ビルについては多くの省エネ技術を導入していますが、環境負荷増大の要因としてビル規模の拡大、IT化による機器の増大、商業施設の営業時間の拡大などさまざまな点が考えられます。ビル管理運営業務における環境負荷はJEPIXにてすべてを指標化できる訳ではありませんが、我が国全体の「業務その他」部門の温室効果ガス排出量が増大傾向にある中で、一つの参考値と捉え、今後ともさらなる省エネ対策を推進し、環境負荷低減に向けた取り組みを進めていきたいと考えています。

* JEPIX
日本における環境優先政策度指数 (Environmental Policy Index for Japan) のことで、さまざまな環境負荷に重み付けを行って単一指標に統合化して評価する手法です。三菱地所(株)はJEPIX手法を実践するパイオニア的企業連合である「JEPIXフォーラム」(文部科学省21世紀COE研究プロジェクトの一環)に2003年から参加しています。

● 環境負荷総量及び単位床面積あたりの環境負荷



● 2004年度の単位床面積あたり環境負荷



旧来ビル	大手町ビル(1958年竣工) 日本ビル(1962年竣工) 有楽町ビル(1966年竣工)
平成初期ビル	横浜ランドマークタワー(1993年竣工) 赤坂パークビル(1993年竣工)
新規ビル	丸ビル(2002年竣工) 三菱信託銀行本店ビル(2003年竣工)
新規ビル (オフィス中心)	三菱信託銀行本店ビル

社会貢献活動



三菱地所グループは、良き企業市民として、地域社会との調和を大切に、さまざまな社会貢献活動を行っています。1994年より専門部署を設置し、社会福祉や環境保全、芸術・文化支援、また地域社会との交流などの分野で、三菱地所グループらしいアプローチをもって、それぞれの活動を推進しています。

(写真左から)
キラキラとアート展示会場(横浜)にてボランティア講座「視覚障害者疑似体験」
西六郷少年少女合唱団コンサート会場(東京)にて

2004年度の活動事例

キラキラとアートコンクール

障害児童の絵画コンクールを2002年度より毎年開催しています。応募作品すべてをインターネット(こどものエコム: <http://www.kodomonoe.com/>)で公開することが特徴で、2004年度は約400点の応募作品の中から選ばれた優秀作品60点について、東京丸ビル、横浜ランドマークタワー、愛知県赤十字血液センターにて展示会を行いました。

名からスタートしたこのクラブも、現在では20名近くの参加が得られるまでに成長し、仕事帰りの毎月の楽しみとして、賑やかな集いとなっています。

Shall Weコンサート

社会福祉、青少年育成支援を目的に、9年目を迎えた2004年度のコンサートは、東京・西六郷少年少女合唱団による3回の公演を開催し、高齢者、障害者を中心に約600名のご来場の方々に清らかな歌声をご堪能いただきました。また、都内の養護学校を対象に、若手演奏家とともに訪問し、生のクラシック音楽を聴いていただく出張コンサートも行っています。

災害支援 / 新潟県中越地震、スマトラ沖大地震

義援金、社員の募金のほか、2004年10月29日には、新潟県に緊急支援として三菱地所(株)が備蓄している非常食(アルファ米約1万食分など)を提供しました。

ホール・ギャラリーなどの活用

丸ビルホール、横浜ランドマークホール・スカイガーデン、福岡イムズ(三菱地所アルティアム)などのスペースを活用し、チャリティーコンサートや絵画展、NGOの活動報告の展示などを行っています。

オフタイムクラブ

千代田区に在勤・在住する知的障害者との交流会を東京・丸の内にて2004年6月から毎月開催しています。参加者数

社員のボランティア活動支援

三菱地所(株)では、ボランティアに関する支援制度や各種セミナーの実施、「音訳ボランティアサークル」や退職者のボランティアサークル「三菱地所ゆうゆう倶楽部」の支援など、社員及び退職者がボランティア活動に取り組みやすい環境づくりを行っています。支援制度は1999年より開始し、2001年度に下記内容に改善・拡充しました。また、2005年度より一部制度をグループ会社にも適用しています。

支援制度は1999年より開始し、2001年度に下記内容に改善・拡充しました。また、2005年度より一部制度をグループ会社にも適用しています。

制度	概要	利用実績(延べ人数)			
		2001年度	2002年度	2003年度	2004年度
ボランティア休暇	ボランティアを行う場合、積立休暇(特別有休休暇)を利用可	1	6	3	0
ソーシャル・ラーニング	就業時間内のボランティア活動可	5	7	5	9
ボランティア保険付保	事故を補償する保険を会社が付保(家族も対象)	32	41	30	32
活動費補助	ボランティア参加費、交通費の一部を会社が補助	70	28	18	14
マッチング・ギフト	社員が1年以上継続して活動する団体へ金銭や物品を提供する場合、会社が同額を上乗せ	0	0	0	0
社員提案型支援プログラム	社員の提案(募金、研修、サークル設立、活動コーディネート)を会社が支援	3	0	0	0